

株式会社アバン

神戸市中央区港島中町6-3-5 TEL.078-303-3911  
http://www.avant-group.co.jp/

代表取締役社長

山口 省一氏



神戸ファッションタウンに建つ本社



「OEM生産という言葉をご存知だろうか。OEM生産とは簡単にいえば、取引先のブランドの生産を担うことである。今回紹介する株式会社アバンは、布帛及びニットを中心に高級婦人服のOEM生産を行っているアパレルメーカーである。移り変わりの早いファッションの世界で独自のこだわりが光る。」

国内の大手アパレル企業が軒を連ねる神戸ファッションタウンの一角に株式会社アバンの自社ビルがある。1985年にポニーアイに進出して25年。OEM企業として取引先から絶大な信頼を得ており、他企業では真似の出来ないこだわりと技術力を誇る。

「当社は主に比較的年齢の高い方をターゲットにした製品を作っています。そこに求められるものは、グレート感であり、着心地の良さです。女性が求める美しさと同時に機能性をも重視した服づくりを行っています。」

と語るの代表取締役社長・山口省一氏だ。女性が「より美しくなりたい、いつまでも美しくありたい」と願うのはいつの時代も変わらない。そしてその美しさとファッションは大きく関わっている。

だが、年齢層の高い女性を対象にしている場合、実際に着用した時の着心地の良さが大きなポイントになってくる。そのため、120名ほどの社員のなかにボタンナーが約40名在籍し、着用する人の体型や動きを考慮した服

を仕上げていくのだ。「色やデザインだけで洋服を選ばれるのはやはり若い方に多いようです。私共のターゲットにしている年齢層の方たちは、見た目だけではなく生地、縫製、着心地も含めたものを求められます。そしてそれらを全てクリアしてこそ、気に入っていただき、顧客になってくださるんです。」

ここでは、布帛とニットをメインに製品を作っている。布帛は生地を裁断して作るが、ニットは何もないところから

製品も人材も、  
目指すは「質」の日本一  
より美しく  
いつまでも美しく  
ファッションとともに。



インターネット通販で販売している Amykathrynのバッグ

編みあげていく。いわば対照的な素材ともいえる。「生産拠点も全く別になっています。ニットは新潟の研究所に専任者を置き、細かなところまでチェックしな

がら仕上げていきます。」

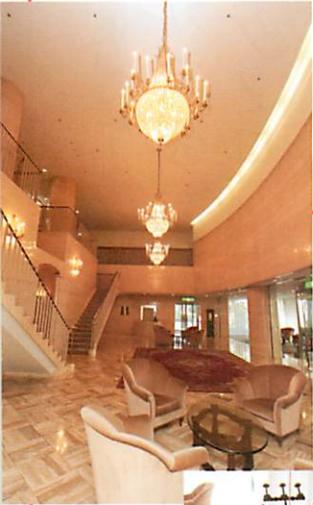
布帛ではボタンナーがあらゆる角度から検討して型紙を作る。布帛もニットも素材は違っても、同社の製品づくりに対する姿勢は徹底している。「ファッション性を追求していくのは当然のことですが、質においても日本一を目指しています。」

例えば、ブラウスを作る  
ときもジャケット  
仕立てのブラウスを  
作り上げる。  
だからこそ製品  
としてのラ  
ンクもあが  
る。工賃は少  
し高めだぞう  
だが、どこも真  
似の出来ない  
こだわりは、得  
意先からの大

大きな信頼に結びついている。  
縁 の下の力持ちのような存在のOEMメーカーだが、最近企業としての動きに変化が訪れた。それはプライベートブランド展開やインターネット通販事業だ。それらについてはまだ始まったばかりだが、同社の事業の大きな柱になる可能性を秘めている。

「インターネット通販事業でいうと、具体的には Amykathryn(アミーキャサリン)のバッグを販売しています。エコバッグやシルダーバッグなどリーズナブルな価格で販売しているので、顧客層も若いですね。」

東京の代官山に東京事務所を置き、若者のファッションやトレンドにアンテナを張り巡らしてきた。新事業はこれからどう展開していくのか。株式会社アバンの未来に関心は高まるばかりだ。



ショールームのシャンデリアはフランスから。調度品はイタリアから取り寄せたもの。

